

令和8年度 可部学区地域運営委員会 事業計画書

1 今年度の目標

・無人化となった JR 可部駅舎の有効活用について検討委員会を立ち上げる。
・可部旧街道を中心とした地域の活性化に向け、歴史的資源の活用について支援する。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	可部夢街道まつり 2026	(12) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月18日	
(2) 実施場所	県道240号線(明神公園～旭鳳酒造までの1.2km)を中心とした周辺	
(3) 参加者数	5,500 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 可部夢街道まつり実行委員会	
4 取組内容	「可部の歴史や文化の伝達」、「子どもを中心とした取組」、「他団体・他地域との連携」、「まち歩き」などを取り入れ、地域住民が参加しやすい祭りを開催する。一部歩行者天国を実施し、ゆったりと町歩きを楽しんでもらう。具体的には、地域店舗の特別営業、公園や寺社を活用したフリーマーケット、一輪挿し飾り、地域団体の発表、写真や作品の展示、花の散歩道の散策、スタンプラリー、歴史や文化のガイドなど。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 可部には長い歴史があったことを伝承していくことで、可部の文化、歴史を大切に守り、後世に語り続けてもらう、そのきっかけになることを目的とする。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 上記取組内容の実施により、住民相互の連帯感が生まれるなど、地域の活性化を図ることができる。また、保育園から大学生までの若い世代に参加してもらうことにより、可部の文化、歴史に興味を持ってもらい、大人になってから、可部の文化・歴史を継承し、可部の発展に貢献してもらえる可能性が期待できる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	こどもたちと進める可部のまちづくりプロジェクト	(12) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 3 1 日	
(2) 実施場所	県道 240 号線（明神公園～旭鳳酒造までの約 1.2km を中心とした周辺）、及び「花の散歩道」のエリア	
(3) 参加者数	100 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 可部夢街道まちづくりの会	
4 取組内容	地域で生活する子供達と一緒に進めるまちづくりを目指す。可部小学校が行う「総合的な学習の時間～可部っ子 SDG s」を地域で応援する取組をベースとし、今後は中学校、高等学校、大学へも連携を促し、未来のまちづくりを担う人材育成にもつなげていく。 （具体的な取組） ・可部の歴史や文化を伝える出前講座 ・可部 3 大祭りを通じたまちづくりへの参画 ・歴史散策・まち歩き 等	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民による出前歴史背景講座、歴史散策、イベント等での作品展示等を通じて、地域の子供達に自分の町を見て・学び・考えることで愛着を持ってもらい、歴史ある可部の町並みを次世代に残していくことを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の子供達が自分の町を見て・学び・考えることで故郷に愛着が得られ、次世代の担い手育成につながる。また、大人になり可部を離れたとしても、子供の頃に学んだ経験から間接的にでも地域と関わるができる人材の育成にも期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	可部の歴史を見て歩いて楽しむ（JR可部駅構内）	(12) 事業中(3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	JR可部駅構内（自由通路他）および西口広場	
(3) 参加者数	100 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 可部夢街道まちづくりの会	
4 取組内容	可部駅連絡通路壁面には、広島市立可部小学校、広島市立可部中学校、広島県立可部高等学校、広島文教大学附属高等学校の児童・生徒達の可部への思いを込めた作品を展示する。その作品の入れ替えや、枠のメンテナンス等を行う。 可部駅西口広場及び歩道、トイレ等の清掃・及びメンテナンス等の活動を行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 多くの人が行き交う可部駅において、自由通路をはじめとする駅構内は無機質な空間が広がっている。このため、来訪者に向けて、おもてなしができるよう配慮しつつ、地域住民も心温まるスペースにしていくことで、新たな可部の魅力発信につながると考える。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 作品展示については主に地元学生を対象とすることで、行き交う人も足を止めやすく、多くの人の目にとまると考える。作品展示を通じ、可部から誕生する未来の芸術家が期待でき、また、地域住民が集う交流・観光スペースとなることが期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	可部の歴史を見て歩いて楽しむ（勉強会）	(12) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	可部夢街道、花の散歩道	
(3) 参加者数	50 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 可部夢街道まちづくりの会	
4 取組内容	令和7年度に第2版を発行した「可部夢街道まち歩き手引き」を基に、可部駅広場の成り立ち、今に伝わる可部の町、長年引き継がれてきた伝統的な祭り、可部夢街道の街並みを生かしたイベント、歴史、可部夢街道まちづくりの会が取り組んでいることなどを紹介しながら、まち歩きや、昔から住む方々による可部の昔の話を聴く勉強会を開催する。 特に今年度は、可部夢街道沿いの名前のある小路を訪ね、正徳時代に作成された古地図と共に、可部の歴史を掘り下げて勉強会を開催する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 「可部夢街道まち歩きの手引き」を活用し、可部の歴史・行事・お宝を幅広い世代に伝えるとともに、小学校の出前授業での参考資料とする。また、少しでも多くの方に可部の町に興味を持ってもらい古民家等の保全にも役立てたい。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 「可部夢街道まち歩きの手引き」は誰にでもわかりやすい内容となっており、可部の町に興味をもってもらうきっかけとなることが期待できる。また、地域に興味関心を持つ人たちを集めて勉強会を開催することにより、ボランティア活動等に参加するきっかけづくりにもつながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	明神社祭り	(12)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年7月25日	
(2) 実施場所	明神公園周辺	
(3) 参加者数	2,000 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 明神社祭の会実行委員会	
4 取組内容	明神公園を中心とした可部旧街道(300m)を歩行者天国(17:00-22:30)にすることで安全に神楽・ダンス・太鼓などの演目を観ることができ、屋台・商店などの買い物も安全に楽しむことも可能となる。 また、可部高校生応援による子ども神輿を実施することにより、地域と子どもたちとの連携が図られ、これからの町内会活動を含めた町おこしの一助ともなる。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 267年の歴史ある可部町を代表する祭りのひとつである「明神祭り」を開催することにより、地域の活性化と歴史文化の保存・伝承を行うことができる。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 歴史ある祭りを継続的に開催することで、若い人達も集まりやすくなり、地域の賑わいを醸成し、地域の活性化を図ることができることから、未来を見据えた地域づくりにつながることを期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	にこ ami ほほえみの会	(12)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日 (準備・振り返り等も含む)	
(2) 実施場所	安佐北区総合福祉センター	
(3) 参加者数	80 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 可部地区民生委員児童委員協議会	
4 取組内容	高齢者や、一人暮らしの人を対象とした頭の体操・心の体操を通じて、楽しいひと時を過ごしてもらう。 ステージ発表や催し物を開催する (11月に予定)。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 高齢化により、外出しない高齢者も多いことから、外に出てもらうきっかけ作りを目的とする。また、担当の民生委員と交流をもち相談をしやすい関係をつくる。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 頭の体操では認知症予防、心の体操では孤独感の解消につながる。また、高齢者同士をはじめ多くの人とのつながりが高齢者にとって生きがいになることを期待する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	にこ ami ママサロン	(12)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日（準備・振り返り等も含む）	
(2) 実施場所	勝円寺	
(3) 参加者数	40 人（見込み）15人程度×3回予定	
(4) 主催団体	団体名 可部地区民生委員児童委員協議会	
4 取組内容	子育て中の親子を対象にしたサロンを行う。子育て中の親子が気軽に参加できるよう、託児対応を取り入れ、フラワーアレンジメント、ティッシュケースづくり、体操等のイベントを開催する。 ・6月、10月、2月開催（時間は13：30～15：00）	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 自治体等に関わることがなく、孤立する親子が増えているので若い母親たちに地域とのつながりをつくってもらう。民生委員が近くにいること、民生委員は身近な相談相手であることを知ってもらう。また、行政の相談窓口等の紹介や子育てについて情報交換を行う。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 経験豊かなスタッフに子育ての悩みを気軽に相談でき、子育て世代同士の繋がりを持てる場所を提供することで、子育て世代の不安解消につながり、安心して子育てを行うことができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	大文字祭り	(12)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>5</u> 月 <u>30</u> 日 ～ 令和 <u>8</u> 年 <u>5</u> 月 <u>31</u> 日	
(2) 実施場所	高松山（大の字） 高畑神社境内	
(3) 参加者数	<u>1,000</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>高松神社大文字保存会</u>	
4 取組内容	300年前から続く火難除け行事として、高松山山頂付近にて「大」の文字を、電球を利用して19時から献灯する。高畑祇園神社では可部小学生による餅まき等を実施する。 また、根の谷川沿いには、「大」の文字が浮かぶ高松山の方角に向かって、小学生が作成したペットボトル灯籠が並べられ、高松山の「大」の点灯と同時刻に点灯開始する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） かつて300年前に可部のまちに大火が発生し「大」の字型に焼けが広がったことから、火難除けを祈願して住民が奉納している伝統行事である。この伝統行事を後世に伝え残すことを目的として実施している。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 毎年、大文字祭を行うことで、可部の季節行事として老若男女に認知されており、地域の活性化を図ることができるとともに、賑わいの創出に期待できる。地域外の方々にも訪れてもらっており、可部の地域の魅力を広く発信することができる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	可部地区サロン活動（福祉事業）	(12) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 1 日	
(2) 実施場所	各サロン開催場所	
(3) 参加者数	260 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 可部地区社会福祉協議会	
4 取組内容	地区内 13 か所で開催しているサロンはすべて地元の集会所等を活用して運営されている。百歳体操をはじめとしたさまざまな健康体操や茶話会、介護や福祉に関係する研修会、施設見学、スマホ等高齢者が苦手な分野の学び合い等、それぞれのサロンが工夫しながら取り組んでいる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 高齢者の社会的孤立の防止、健康維持や介護予防、高齢者の生きがいつくり、地域の見守り支え合いの促進を目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 高齢者の健康維持はもちろんのこと、人との交流が孤独感を軽減し心の安定につながる。 また、顔見知りが増えることで、災害時や急な体調不良時に助け合いやすくなる。参加するだけでなく、運営を手伝ったり趣味を披露したりすることで、役割ややりがい生まれる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	郷土可部地域文化の継承事業	(12) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	可部学区内 (可部南地域 亀山地域 三入地域の一部を含む)	
(3) 参加者数	650 人 (見込み) (募集人数 約 15 名年 10 回 可部小生 2・6 学年計 4 回)	
(4) 主催団体	団体名 可部ガイドクラブの会	
4 取組内容	「可部公民館だより」を通して希望者を募り、可部の神社めぐり、可部の山すそめぐり、夢街道（旧街道）町巡り、「大文字祭り」コース、中島地域の名所・旧跡めぐり、太田川展望コース、四日市地域探索など様々なコースを設定し案内する。また、一般からの要請が年 6 回ほどあるため、希望に応じたコースを案内する。 可部小学校からの要請では、6 月に 2 年生の生活科の授業の一環で地元可部商店を回り、店主の話を聞く場に合わせ、町案内をし、地元の商店（呉服・写真・薬局・醤油・酒・可笑屋など）が貢献している様子を伝える。10 月には、6 年生には可部の歴史・史跡を通して見聞を広め、中学生になっても可部の町づくりに関心を持つよう指導を行う。 ガイドを通して可部の歴史、名所・旧跡、商家・建屋等の町並みを紹介するとともに旭鳳醸造・中川醤油、大和重工・友鉄ランドなど商業の中心になっている様子を伝える。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） - 宿場町、商業の町として栄えてきた可部の町を、ガイドを通して巡ることで、可部の歴史を深く知ることができ、地域の伝統行事等への若者の参加しやすい交流体制が構築される。 - 歴史と深くつながっている、山や川などの自然環境にも恵まれた可部の町の魅力を知ることができ、地元への愛着を醸成する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ガイドを通して多くの住民や若者が可部の町を知る機会になり、地元への関心の目を向ける人々が増え、愛着が湧く。また、ガイドを受けた参加者が可部の良さを知り口伝えすることで、次世代に地域資源を残していこうとする人材が育つ。また、その地域資源を基に観光地域づくりが推進される。 継続して実施することで「自然や歴史、伝統文化など地域資源を生かしたまちづくり」が達成できる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	地域コミュニティ活性化推進事業	(12) 事業中 (11) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日（準備・振り返り等も含む）	
(2) 実施場所	可部第五公園	
(3) 参加者数	2, 400 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 福王寺不動坂らくらくタクシー活性化協議会	
4 取組内容	手芸品をはじめとした手作り小物・雑貨販売、花・野菜の産直市、キッチンカーでのたこ焼きやクレープなどの軽食、弁当・パン・クッキー等の食品販売を行う。また、子ども向けにメダカやボールすくいなどのコーナーも設け、年齢を問わずに楽しめるイベントを開催する。また、福王寺 1200 年祭の PR 活動など地元を盛り上げるための催しも企画する。 年 2 回開催予定（① 11 月上旬 ② 3 月中旬ごろ）	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 乗合いタクシーが運行開始されてから令和 8 年 5 月時点で 10 年目に入るが、55 万～60 万円/年が地元負担になっている。このため、このハンドメイドマルシェでの収益金を、福祉事業の乗合いタクシーの継続に向けた運営資金に充てることと地域の賑わいづくりを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 年 2 回開催により、徐々に認知度が高まっており、多くの出店者が集まり、地元住民をはじめ広範囲の地区からの参加者がある。このマルシェ開催が乗合タクシーの運営資金獲得だけでなく、老若男女の交流の場となり、地域の活性化に大いに役立っている。今後とも乗合いタクシーの安定した運行と地域コミュニティ活性化推進事業として定着させることにつなげたい。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	地域のまつりイベント応援活動	(12) 事業中 (12) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>4</u> 月 <u>1</u> 日 ～ 令和 <u>9</u> 年 <u>3</u> 月 <u>31</u> 日	
(2) 実施場所	学区内まつり等イベント中心会場及び周辺地域	
(3) 参加者数	<u>1, 0 0 0</u> 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>可部学区地域運営委員会</u>	
4 取組内容	祭りイベントの必須アイテムや、出店で活用するテントや発電機等を可部LMOとして購入し、必要としている可部LMO構成団体に対して無料で貸し出しを行い、まつりイベントを応援して盛り上げに協力する。 なお、貸し出しについては物品貸出要領(令和7年3月12日付制定)に基づき行う。 (参考): 令和7年度までの購入物品: 綿菓子機・ポップコーン機・ノンフライヤー・氷削り機・プロジェクター・缶バッジ製造機)	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 可部旧街道とその周辺及び各地域(各町内会等含む)で実施されるまつり等の来場者に対して、少しでも見て楽しむ機会を増やし、参加可能なまつり等の伝承に繋げていく事を目的とする。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 単に物品販売が目的ではなく、来場者自身がやってみる、経験してみる、親も一緒になって参加する(親子ふれあい参加型)など、地域まつりのさまざまな楽しみ方や思い出が子供たちの心に残り、将来の「可部愛」にも繋がることを期待できる。	

3 自主財源で実施した事業

特になし